

2017年3月吉日

お客様各位

日本カノマックス株式会社  
代表取締役会長 兼 最高経営責任者  
加野 稔

## 第4回カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップのご案内

～アジアの大気汚染研究フロンティアとエアロゾル研究計測・分析技術の最新トレンド～

拝啓 貴兄におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、弊社におきましては、最先端のエアロゾル研究と、微粒子計測に関する課題やトピックス、ならびに最新の計測・分析技術動向のご紹介とディスカッションの場として、ご好評にお応えすべく、昨年に続き「第4回 カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ」を開催する運びとなりました。今開催におきましては、アジアにおける大気汚染研究に焦点を当てた話題を中心に構成致しました。

今回も、国内外のエアロゾル研究領域をリードする気鋭の研究者を多数お迎えし、エアロゾル研究における最新のトピックスについてご講演頂くほか、弊社で新たに開発した世界最高レベルの応答性を実現したCPC(核凝縮粒子カウンター)、超高速粒度分布計測の可能性を秘めたDT-IMS(ドリフトチューブ・イオンモビリティースペクトロメータ)、最新の微粒化技術であるNAG(ナノエアロゾルジェネレータ)、及びアプリケーション事例のご紹介などを通じてエアロゾル計測技術に関する最新情報を共有させて頂きたいと考えております。その他、微粒子による室内環境や作業環境の影響評価における最新の研究動向、大気エアロゾルの計測手法・分析の研究事例等、最新のトレンドをご紹介したいと考えております。ご参加の皆様にとりまして有意義な機会となりますことを祈念しております。

基調講演におきましては、アジア各国より第一級の研究者をお招きし、アジアにおける大気環境汚染に関するご発表を頂きます。中国清華大学のJingkun Jiang先生より中国の大気汚染の現状と展望、韓国技術教育大学のJeonghoon Lee先生よりフィルター技術を用いたブラックカーボン計測事例をご紹介頂くほか、我が国における大気環境研究の第一人者である金沢大学・環日本海域環境研究センターの早川 和一先生からは東アジア地域の多環芳香族炭化水素の発生源としてのPM2.5の挙動や毒性に関してご講演頂く予定です。

また、特別講演として、米国イリノイ大学シカゴ校のIgor Paprotny先生より、画期的なブレイクスルー技術として弊社と共同研究を進めているMEMS技術をベースとした超小型微粒子センサー開発の最新動向についてご紹介頂きます。テクニカルセッションにおきましては、米国エアロゾル研究分野・イオンモビリティ分析分野におきまして先端的な研究を精力的に進めておられますミネソタ大学のChris Hogan先生、インディアナ大学のCarlos Larriba-Andaluz先生等に講演いただく予定をしております。さらに、米国ならびに国内から世界の研究のトレンドをリードする気鋭の研究者に登壇願ひ、最新の研究動向と最先端のエアロゾル計測技術についてご発表頂きます。この機会が活発な意見交換と有益な情報提供の場となり、必ずや皆さまの研究活動に資することを確信しております。

ご多用中、誠に恐縮ではございますが、是非ともご来臨賜りますようお願い申し上げます。

敬具

<お問合せ先>

日本カノマックス株式会社 先端計測事業本部  
粒子研究計測分析事業部

TEL 06-6877-0177

FAX 06-6877-6849

aerosol@kanomax.co.jp

## **第4回カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ 開催概要**

テーマ：アジアの大気汚染研究フロンティアとエアロゾル研究計測・分析技術の最新トレンド

開催日時：2017年4月21日 10時00分～17時00分（受付開始 9時30分）

会場：AP品川アネックス 地下1F 会議室I、会議室P

### **<基調講演：アジアの大気汚染研究の動向>**

Jingkun Jiang 氏 【中国 清華大学 准教授】  
Jeonghoon Lee 氏 【韓国 韓国技術教育大学校 教授】  
早川 和一 氏 【金沢大学・環日本海域環境研究センター 特任教授】

### **<特別講演：超小型微粒子センサー>**

Igor Paprotny 氏 【米国 イリノイ大学シカゴ校 コンピューターサイエンス/機械工学科 准教授】

### **<テクニカルセッション>**

#### **計測技術：エアロゾル粒子の分級・分析**

DMA(エアロゾル粒径分級装置)に関する新たな技術知見や、弊社で新たに開発した新たな CPC(核凝縮粒子カウンター)の現状と可能性を議論したいと考えています。作業環境、室内環境へのナノ粒子の評価・測定への取り組みや今後の課題について議論を行うと共に、迅速粒子移動度測定法として可能性が期待される IMS(イオンモビリティ分析法)について、最新動向もご紹介する予定です。

#### **<主な講演予定者>**

鍵 直樹氏 【東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 准教授】  
西大路 宏氏 【東レテクノ株式会社 環境科学技術部 部長】  
Chris Hogan 氏 【米国 ミネソタ大学 機械工学科 准教授】  
Carlos Larriba-Andaluz 氏 【米国 インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス校 機械工学科 助教】

#### **計測技術：新技術、捕集**

液中粒子のエアロゾル化技術や、エアロゾル粒子の三次元形状予測に繋がる新技術の紹介、エアロゾル粒子の同定に繋がる微小粒子の粗大化を通じたサンプリング方法の開発等をご紹介する予定です。PM2.5 や微小粒子等の沿道における汚染物質の捕集および解析の研究事例をご紹介する予定です。

#### **<主な講演予定者>**

Derek Oberreit 氏 【米国 Kanomax FMT Inc. 研究開発担当副社長】  
藤谷 雄二 氏 【国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 主任研究員】  
中川 真秀 氏 【名古屋大学 宇宙地球環境研究所】  
Patricia Keady 氏 【米国 Aerosol Devices Inc. 社長】

### **<実機デモンストレーションセッション>**

弊社製品を含め、プレゼンテーションの関連する機器のデモンストレーションを準備しております。

\*\*\* プレゼンテーションと配布資料は英語となります。（資料は和訳挿入予定）

## <レセプション>

場所：別途ご案内予定です。参加費は無料です。

時間：18時00分～20時00分

参加費：無料

定員：60名 \*定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、ご了承ください。

申込期限：4月7日（金）

主催：日本カノマックス株式会社 粒子研究計測分析事業部

<http://www.kanomax.co.jp/agroup.html>

ご注意事項：上記プログラムは、予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

## 【アクセス】

■AP 品川アネックス 〒108-0074 東京都港区高輪 3丁目 23-17 品川センタービルディング

TEL：03-5475-6109

東海道新幹線・JR線・京急線、品川駅より徒歩約3分



## 第4回 カノマックス・インターナショナル・エアロゾルワークショップ参加申込用紙

ご返信先 FAX : 06-6877-6849 Email : aerosol@kanomax.co.jp

日本カノマックス株式会社 粒子研究計測分析事業部 宛

お申込日 月 日

---

お名前 :

---

ご所属 :

---

TEL :

---

Email :

---

ご興味のある技術 : エアロゾル粒径・形状分析 エアロゾル質量分析 成分分析

---

現在お困りのこと  
及びご要望等 :

---

その他 :

---

レセプション : 参加します 参加しません

---